

平成28年度 フードスペシャリスト資格認定試験実施要領

平成28年6月21日
公益社団法人日本フードスペシャリスト協会

1. 試験日時

平成28年度のフードスペシャリスト資格認定試験（以下「認定試験」といいます。）は
平成28年12月18日（日）9時30分から実施します。

2. 試験実施場所

認定試験は、フードスペシャリスト養成機関（以下「養成機関」といいます。）として認定された学部・学科等を有し、平成28年度の認定試験を実施する教育機関（以下「受験教育機関」といいます。）を会場に実施します。

なお、「[平成28年度フードスペシャリスト資格認定試験実施校](#)」は、この実施要領とあわせて協会ホームページに掲載します。

3. 認定試験と受験資格

(1) 認定試験は、次の資格区分ごとに行います。

- ①フードスペシャリスト資格
- ②専門フードスペシャリスト（食品開発）資格
- ③専門フードスペシャリスト（食品流通・サービス）資格

(2) 認定試験の受験資格を有する方は、前記（1）の①の認定試験においては、下記の方です。また前記（1）の②及び③の認定試験の受験資格を有する方は、①の認定試験を同時に受験する方又はその認定試験に既に合格している方です。

- 一 養成機関の最終年次に属する学生
- 二 4年制大学に置かれた養成機関の第3年次に属する学生で、第3年次中に所定の授業科目の単位の全てを修得すると認められる方
- 三 養成機関を卒業しており、かつ、養成機関において所定の授業科目の単位の全てを修得済みあるいは修得見込みである方

(3) 受験資格の認定は、養成機関の在籍者にあつては、在籍養成機関の属する教育機関（以下「在籍教育機関」といいます。）が、養成機関を卒業した非在籍者にあつては、卒業養成機関の属する教育機関（以下「卒業教育機関」といいます。）が行うものとします。

4. 受験教育機関

(1) 養成機関の在籍者は、在籍教育機関で受験するものとします。

(2) 養成機関を卒業した非在籍者は、卒業教育機関での受験を原則としますが、住所等の都合でこれによりがたい事情のある方は、受験申請書に受験希望地を明記し、協会が斡旋する教育機関で受験するものとします。

5. 受験申請

[養成機関在籍者]

- (1) 養成機関在籍者にあつては、在籍教育機関を経由して認定試験の区分ごとに受験申請を行うものとします。
- (2) 養成機関在籍者は、在籍教育機関に対して受験する次の資格区分ごとの認定試験の受験料の総額を添えて受験申請を行って下さい。

①フードスペシャリスト資格	4,000 円
②専門フードスペシャリスト（食品開発）資格	2,000 円
③専門フードスペシャリスト（食品流通・サービス）資格	2,000 円

なお、申請期限は各教育機関が独自に定めます。通常、協会の受付期限よりも早めに締め切られますので、受験希望の方は注意して下さい。
- (3) 在籍教育機関は、(2) を取りまとめのうえ、[別紙1](#)の様式による受験者名簿を簡易書留郵便など送達を確認できる方式で平成28年10月15日(土)までに協会に送付して下さい。
- (4) 振込にあたって各教育機関は、認定試験の実施に伴う経費の一部に充てるため、協会から助成する額（受験料の15%に相当する額）を控除して下さい。なお、この方式によりがたい場合は協会にご相談下さい。
- (5) 各教育機関は、受験者名簿の発送及び受験料の振込に時期を合わせ、次の資料を件名に教育機関名を入れて協会あてにE-Mail添付で送付して下さい。[協会のE-Mailアドレスはjimu@jafs.org](#)です。

ア 受験者名簿の電子ファイル

イ [別紙2](#) 受験料振込通知書の電子ファイル

[養成機関非在籍者]

- (6) 養成機関を卒業した非在籍者にあつては、協会に直接受験申請を行うものとします。
- (7) 養成機関非在籍者は、平成28年9月1日(木)から9月30日(金)までに、以下の書類を簡易書留郵便など送達を確認できる方式で協会に送付するとともに、前記(2)の受験する認定試験の資格区分ごとの受験料の総額および連絡通信費500円の合計額を一括して協会に振り込んで下さい。
 - ① [別紙3](#)の様式による受験申請書（写真および受験料・連絡通信費の振込明細書のコピーを貼付のこと）
 - ② 卒業教育機関から交付を受けた卒業証明書及び単位修得証明書但し、②の書類は前記3の(1)の①の受験者に限り必要です。既に(1)の①の資格を取得した方で②又は③のみの受験者は不要です。

[共通留意事項]

- (8) 在籍教育機関による受験料の振込先は次のとおりです。また、養成機関非在籍者の受験料や連絡通信費の振込先は、みずほ銀行のみとします。

口座名義	公益社団法人 日本フードスペシャリスト協会				
振込先	みずほ銀行	大塚支店	普通	2102419	
	三井住友銀行	巣鴨支店	普通	7195855	
	三菱東京UFJ銀行	大塚支店	普通	0042968	

- (9) 受験料や連絡通信費の領収書は、振込銀行の振込明細書（「振込金受取書」又は「利用明細票」）をもって代えさせていただきます。
- (10) 一度納入された受験料や連絡通信費は、返納できませんので、あらかじめご了承ください。
- (11) 受験者名簿に記載されていない方あるいは受験申請書が提出されていない方および受験料等の振込のない方は、認定試験の受験を認めません。

6. 試験の実施体制

- (1) 各受験教育機関は、フードスペシャリスト養成課程を担当する専任教員（学内兼任教員を含む）又は事務担当責任者の中から試験実施委員を選任し、平成28年10月末日までにその職名及び氏名を**別紙4**の様式により協会にお知らせ下さい。
試験実施委員は1名に限りません。受験者の数に応じ、円滑な試験の実施に必要な数の試験実施委員を選任、通知して下さい。
- (2) 協会は、受験教育機関に対し、そこで受験を希望する非在籍者がいる場合、その名簿を平成28年10月24日(月)までに送付しますので、当該受験教育機関は**別紙5**の様式による受験会場案内を平成28年11月7日(月)までに協会にご報告下さい。
- (3) 協会は、平成28年11月18日(金)までに非在籍受験者本人に受験票と受験会場案内を送付します。
- (4) 協会は、平成28年12月12日(月)までに、各受験教育機関に、そこで受験する在籍者の受験票と非在籍受験者の受験申請書の写し（写真付）、試験問題および解答用紙を簡易書留郵便など送達ができる方式で送付します。（なお、これらについて分散して送付する場合があります）
- (5) 試験実施委員は、在籍者の受験票について確認のうえ受験者にお渡しく下さい。
- (6) 受験票は、「平成28年度資格認定試験受験票」として**別紙6**の様式で呈示します。
- (7) 試験実施委員は、試験問題及び解答用紙について、到着後速やかに部数を確認のうえ再厳封し、試験実施直前まで学内に厳重に保管して下さい。
- (8) 各受験教育機関における認定試験の実施に伴う経費は、それぞれの教育機関の負担とします。なお、非在籍者が受験する教育機関には、その受験者数に応じた額（受験料の15%に相当する額）を協会から助成します。

7. 試験日以降の対応

- (1) 試験実施委員は、平成28年12月18日（日）午前9時30分から、**別紙7「認定試験実施の手引」**に従い、認定試験を厳正に実施して下さい。
- (2) 試験実施委員は、認定試験後、回収した解答用紙、受験者出欠表（**別紙8**）および非在籍受験者の受験申請書の写しを**平成28年12月21日（水）必着**で協会宛簡易書留郵便など送達ができる方式で送付して下さい。なお、送付された解答用紙に欠番がある場合、その受験者は棄権したものとみなします。
- (3) 認定試験の正解表は、解答用紙の受領を確認のうえ、平成28年12月20日（火）15:00に協会のホームページに掲載します。試験問題や正解表に意見のある方は、平成28年12月25日（日）までに協会宛にメールでお願いします。

8. 認定試験の内容

- (1) 各資格認定試験の出題科目と出題数、試験時間は、別表のとおりとします。
- (2) 各資格認定試験の問題は、協会の専門委員会が作成します。

- (3) 問題は、各資格認定試験とも五肢択一方式とします。
- (4) 配点は各資格認定試験とも各問2点、120点満点とします。
- (5) 解答用紙はマークシートとします。
- (6) 出題の範囲は、各資格認定試験とも原則として平成26年3月策定の「フードスペシャリスト養成課程コアカリキュラム」(協会ホームページに掲載)によるものとしますが、当分の間、下表のとおりとします。但し、フードスペシャリストを目指す者が当然注意を払うべき食に関する時事的テーマについては、この範囲にかかわらず出題することがあります。

フードスペシャリスト論	協会指定テキスト「四訂フードスペシャリスト論」、同第2版及び3版の共通記載事項
食品の官能評価・鑑別論	協会指定テキスト「新版食品の官能評価・鑑別演習」第3版と「三訂食品の官能評価・鑑別演習」の共通記載事項
食品の安全性に関する科目	協会指定テキスト「改訂食品の安全性」第3版と「三訂食品の安全性」の共通記載事項
栄養と健康に関する科目	協会指定テキスト「改訂栄養と健康」第2版と「三訂栄養と健康」の共通記載事項
食品流通・消費に関する科目	協会指定テキスト「新版食品の消費と流通」と「三訂食品の消費と流通」の共通記載事項
フードコーディネート論	協会指定テキスト「三訂フードコーディネート論」の記載事項
食物学に関する科目	「フードスペシャリスト養成課程コアカリキュラム」(前掲)を参照して出題。なお、調理学については協会指定テキスト「調理学」(2015.3.25発行)の記載事項を参考として使用。
調理学に関する科目	

<参考>

協会指定テキストの使用状況(過去4年間)

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
四訂 フードスペシャリスト論 (2013.3.25発行)	→			
同上 第2版 (2014.1.30発行)		←	→	
同上 第3版 (2016.1.20発行)				←
新版 食品の官能評価・鑑別演習第3版 (2008.2.20発行)	→			
三訂 食品の官能評価・鑑別演習 (2014.4.10発行)		←		
改訂 食品の安全性 第3版 (2013.2.20発行)	←			→
三訂 食品の安全性 (2016.3.1発行)				←
改訂 栄養と健康 第2版 (2010.2.25発行)			→	
三訂 栄養と健康 (2015.3.20発行)			←	
新版 食品の消費と流通 (2008.3.31発行)				→
三訂 食品の消費と流通 (2016.2.10発行)				←
三訂 フードコーディネート論 (2012.3.15発行)	←			

(7) 出題の水準は、フードスペシャリストとして必要な基礎の知識・技術を根底に置き、それぞれの資格認定試験にふさわしいものとします。

9. 合否の判定と通知

- (1) 各資格認定試験の合否は、得点結果に従って、協会の専門委員会において判定します。
但し、専門フードスペシャリスト資格認定試験については、得点にかかわらずフードスペシャリスト資格認定試験に合格していなければ不合格とします。
- (2) 解答用紙の提出がない受験者は、認定試験を棄権したものとみなします。
- (3) 判定結果は、受験教育機関の在籍者にあつては受験教育機関を通じて受験者に通知します。また、非在籍者にあつては協会から受験者に直接通知します。

10. 資格認定証・表彰状の交付申請・授与

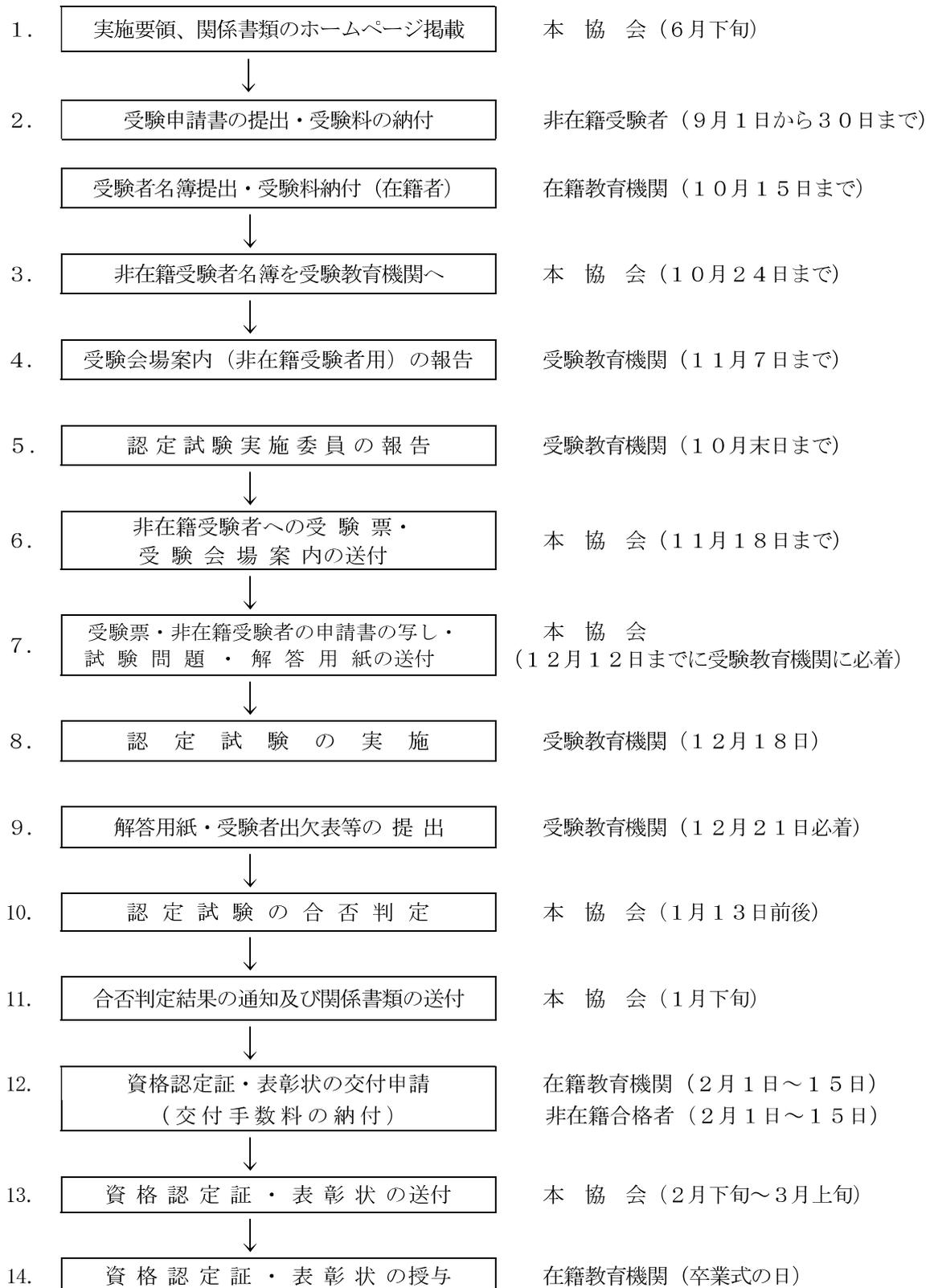
- (1) それぞれの資格認定試験に合格し、養成機関で所定の単位を修得して卒業した方に対し、資格認定証を交付します。また、資格を優秀な成績で取得した者に学校推薦により表彰状を、フードスペシャリスト資格認定試験に特に優秀な成績で合格した者に専門委員会の推薦により表彰状を授与します。
- (2) これらの交付申請・授与については、それぞれの規程に基づき行います。具体的な手続きについては、在籍者にあつては合格者名簿の発送に併せて、受験教育機関に通知します。また、非在籍者にあつては、合格通知の発送に併せて通知します。

別表

認定試験の出題科目と出題数、試験時間

出題科目		フードスペシャリスト 資格認定試験	専門フードスペシャリスト 資格認定試験	
			「食品開発」	「食品流通・ サービス」
共通科目	フードスペシャリスト論	6	6	
	食品の官能評価・鑑別論	9	9	
	食品の安全性に関する科目	8	8	
	栄養と健康に関する科目	7	7	
	小計	30	30	
専門選択科目	食物学に関する科目	9	25	—
	調理学に関する科目	7	5	10
	食品流通・消費に関する科目	7	—	10
	フードコーディネータ論	7	—	10
	小計	30	30	30
合計		60	60	60
試験時間		80分 9:30~10:50	80分 11:10~12:30	

(参 考) 平成28年度フードスペシャリスト資格認定試験チャート



<別紙1>

平成28年 月 日

公益社団法人日本フードスペシャリスト協会
会長 岩元 睦夫 殿

(教育機関名)

(代表者職名) ○ ○ ○ ○ 職印

平成28年度フードスペシャリスト認定試験受験者名簿の提出について

平成28年度フードスペシャリスト認定試験の受験者名簿を**別添**のとおり提出します。

〔 なお、受験者名簿の備考欄に3年次受験と表示している受験者は、本学の○○学部○○学科○○専攻の第3年次に属する学生であり、第3年次中にフードスペシャリスト資格規程第4条に掲げる単位の全てを**別添4**のとおり修得する見込みであることを証明します。 〕

(注) [] 内は4年制大学であって、3年次受験者が存在する教育機関のみ記載して下さい。

〔受験者名簿記載上の留意事項〕

- ① フードスペシャリスト養成機関を有する大学と短期大学が併置されている場合も、受験者名簿を別個に作成し提出して下さい。
- ② 別添1 受験者総数は、複数の養成機関を有する場合、養成機関ごとに記入して下さい。また、養成機関の5桁コードは、協会ホームページに掲載している「平成28年度フードスペシャリスト資格認定試験実施校一覧」記載の5桁コードを記入して下さい。
養成機関名（学部・学科等）は、協会に届けている現在の名称を記入して下さい。
受験者の入学（編入）時の名称と異なる場合は、別添2、別添3の備考欄に「〇〇年〇〇学部〇〇学科入学（編入）」のように記載して下さい。
- ③ 受験者名簿は在籍者を養成機関ごとに別添2、別添3のように分けて作成して下さい。受験番号は、3桁の通し番号として下さい。
- ④ 受験者氏名は、養成機関ごとに氏名の50音順に記載して下さい。但し、4年制大学で3年次受験者がある場合、まず最終年次在籍者を50音順に記載し、次いで3年次受験者を50音順に記載して下さい。
氏名の表記は、戸籍抄本又は住民票の記載と同じにして下さい。なお、電子データでの名簿管理において注意を要する標準的文字以外の文字（外字作成を必要とする文字、ソフトウェアによって文字化けする可能性のある文字など）を使用する場合は、当該文字を朱筆で囲んで、**備考欄に大きく手書きで記入して下さい**。
フリガナは必ず入力して下さい。（ルビ機能は使わないで下さい。）
- ⑤ 卒業式予定日及び受験者の生年月日の表記は、原則として元号表記とし、卒業式予定日は「平成29年3月10日」のようにきちんと表記し、生年月日は「平成」を省略し「04.08.06」や「元.08.06」のように簡略表記して下さい。また、昭和生まれは「昭和」を省略し「63.07.01」のように表記して下さい。
但し、卒業証書の表記と統一をとる観点から、フードスペシャリスト資格認定証に記載する交付日付及び生年月日を西暦表記にすることを希望される場合は、卒業式予定日を「2017年3月10日」のように西暦で完全表記し、生年月日を「西92.08.06」のように西暦で簡略表記して下さい。
なお、留学生等の理由で特定受験者についてのみ西暦表記の認定証を希望する場合は、その受験者の生年月日について、「西89.08.06」のように西暦簡略表記の前に「西」を付けて下さい。
- ⑥ 受験者名簿の認定試験区分欄には、当該受験者が受験する認定試験区分に○印を付けて下さい。
- ⑦ 備考欄について
 - (1) 3年次受験者の場合は、「3年次受験」と明記して下さい。
 - (2) 3年次にフードスペシャリスト資格認定試験に合格した人が、4年次に専門フードスペシャリスト資格認定試験を受験する場合は、「3年次合格」と明記して下さい。
 - (3) 受験者の入学（編入）時の名称と異なる場合は、備考欄に「〇〇年〇〇学部〇〇学科入学（編入）」のように記載して下さい。
 - (4) 全く同一内容の記載が続く場合でも、コピー・貼付け機能を活用し、きちんと記載して下さい。「//」の使用は不可です。資格認定証の申請者名簿作成にも活用できるようにするため、ご協力をお願いします。
 - (5) 外字は、**備考欄に大きく手書きで記入して下さい**。

⑧ 別添2、3記入例について

(別添2)

フードスペシャリスト資格認定試験受験者名簿（養成機関別）

養成機関名	〇〇大学〇〇学部〇〇学科〇〇専攻在籍者						協会に届けている 現在の名称にして下さい。
受験番号	フリガナ	生年月日	性別	認定試験区分			備考
	氏名			フードスペシャリスト資格	専門資格		
					食品開発	食品流通サービス	
001	アラカワ ヨウコ 荒川 洋子	04. 08. 06	女	○		○	荒 最終年次受験 (50音順)
002	タカハシ ヨシエ 高橋 芳江	04. 10. 29	女	○	○		
003	タナカ シュウヘイ 田中 周平	05. 01. 06	男			○	3年次合格
004	カトウ カズオ 加藤 和雄	05. 08. 13	男	○			3年次受験 3年次受験 (50音順)
005	セガワ アケミ 瀬川 明美	06. 02. 11	女	○		○	3年次受験
							〇〇年〇〇学部〇〇学科入学 〇〇年〇〇学部〇〇学科卒業
							和暦・西暦の表記は、 卒業式予定日と統一

(別添3)

フードスペシャリスト資格認定試験受験者名簿（養成機関別）

養成機関名	〇〇大学〇〇学部〇〇学科●●専攻在籍者						
注：受験番号は（別添2）からの連番となります。							
受験番号	フリガナ	生年月日	性別	認定試験区分			備考
	氏名			フードスペシャリスト資格	専門資格		
					食品開発	食品流通サービス	
006	イノウエ アキオ 井上 昭夫	05. 02. 14	男	○	○		
007	キムラ アヤカ 木村 綾香	04. 06. 25	女	○		○	
008	ノムラ テツヤ 野村 哲也	元. 08. 06	男			○	3年次合格
009	エガワ ハルコ 江川 春子	05. 10. 15	女	○	○		3年次受験

(別添1)

フードスペシャリスト資格認定試験受験者総数【総括表】
(養成機関在籍者、認定試験区分別)

学校名	卒業式予定日		
	平成・西暦	年	月 日
フードスペシャリスト資格認定試験		受験者総数	うち3年次受験
○○学部○○学科○○専攻 (5桁コード)		名	名
○○学部○○学科●●専攻 (5桁コード)		名	名
合 計		名	名
専門フードスペシャリスト (食品開発) 資格認定試験		受験者総数	うち3年次受験
○○学部○○学科○○専攻 (5桁コード)		名	名
○○学部○○学科●●専攻 (5桁コード)		名	名
合 計		名	名
専門フードスペシャリスト (食品流通・サービス) 資格認定試験		受験者総数	うち3年次受験
○○学部○○学科○○専攻 (5桁コード)		名	名
○○学部○○学科●●専攻 (5桁コード)		名	名
合 計		名	名

【注意】卒業式予定日の和暦・西暦表記は、受験者の生年月日表記と統一させて下さい。

(別添2)

フードスペシャリスト資格認定試験受験者名簿（養成機関別）

養成機関名	〇〇大学〇〇学部〇〇学科〇〇専攻在籍者
-------	---------------------

受験番号	フリガナ 氏名	生年月日	性別	認定試験区分			備考
				フードスペシャリスト資格	専門資格		
					食品開発	食品流通サービス	
001							
002							
003							
004							
005							
006							
007							
008							
009							
010							
011							
012							
013							
014							
015							

フードスペシャリスト資格認定試験受験者名簿（養成機関別）

養成機関名	〇〇大学〇〇学部〇〇学科〇〇専攻在籍者
-------	---------------------

受験番号	フリガナ	生年月日	性別	認定試験区分			備考
	氏名			フードスペシャリスト資格	専門資格		
					食品開発	食品流通サービス	
016							
017							
018							
019							
020							
021							
022							
023							
024							
025							
026							
027							
028							
029							
030							

(別添3)

フードスペシャリスト資格認定試験受験者名簿（養成機関別）

養成機関名	〇〇大学〇〇学部〇〇学科●●専攻在籍者
-------	---------------------

注：受験番号は（別添2）からの連番となります。

受験番号	フリガナ	生年月日	性別	認定試験区分			備考
	氏名			フードスペシャリスト資格	専門資格		
					食品開発	食品流通サービス	
031							
032							
033							
034							
035							
036							
037							
038							
039							
040							
041							
042							
043							
044							
045							

フードスペシャリスト資格認定試験受験者名簿（養成機関別）

養成機関名	〇〇大学〇〇学部〇〇学科●●専攻在籍者
-------	---------------------

注：受験番号は（別添2）からの連番となります。

受験番号	フリガナ	生年月日	性別	認定試験区分			備考
	氏名			フードスペシャリスト資格	専門資格		
					食品開発	食品流通サービス	
046							
047							
048							
049							
050							
051							
052							
053							
054							
055							
056							
057							
058							
059							
060							

(別添4)

3年次受験に係る単位修得証明

養成機関名 (5桁コード)			
単位修得証明事項			
規定科目	左記規定科目に対応する 協会認定開設科目名	単位数	備考
フードスペシャリスト論		
食品の官能評価・鑑別論		
食物学に関する科目		
食品の安全性に関する科目		
調理学に関する科目		
栄養と健康に関する科目		
食品流通・消費に関する科目		
フードコーディネータ論		
単位合計			

(注)養成機関が複数で、単位修得証明事項の内容が異なる場合は表を分けて記載して下さい。

<別紙2>

フードスペシャリスト資格認定試験受験料振込通知書

本通知書の様式は、一つの学校法人が大学と短期大学を併置している場合でも、大学と短期大学の別に記入して下さい。送金は、両方をあわせても結構です。その旨ご連絡下さい。

平成28年 月 日

1. 通知者概況

設置者名			
学校名			
事務担当者	職名	氏名	
	電話 () -	FAX () -	
	E-Mail		

2. 振込概況

振込元名称	(設置者名または学校名)
振込先銀行	<input type="checkbox"/> みずほ銀行 <input type="checkbox"/> 三井住友銀行 <input type="checkbox"/> 三菱東京UFJ銀行 (該当を■に変換)
振込日	平成28年 月 日

3. 振込額の積算

認定試験区分	受験者数 (A)	1人当り受験料 (B)	受験料総額 (C=B×A)	受験実施経費 (D=C×15%)
フードスペシャリスト資格	名	4,000 円	円	円
専門フードスペシャリスト資格 (食品開発)	名	2,000 円	円	円
専門フードスペシャリスト資格 (食品流通・サービス)	名	2,000 円	円	円
合計	名	—	円	円

差引送金額 (振込額) = Cの合計額 - Dの合計額

= 円

<別紙3>

平成28年度 フードスペシャリスト資格認定試験
受 験 申 請 書

平成 28年 月 日

ふりがな			生年月日	性別
氏名			昭和 平成 西暦	年 月 日 男 ・ 女
連絡先住所	(〒 -)		写真貼付欄 写真を貼る位置 縦 4cm×横 3cm 6ヶ月以内に撮影したもの 裏面に氏名を記入し のり付け	
	自宅電話	- -		
	携帯電話	- -		
	E-Mail			
卒業養成機関名				
卒業年月	昭和・平成	年	月	卒業
受験する資格認定試験区分(該当するものに○印を)		振込明細書(コピー)貼付欄		
() フードスペシャリスト資格		振込明細書を貼る位置 (振込金額:受験料と連絡通信費の合計額)		
() 専門フードスペシャリスト(食品開発)資格				
() 専門フードスペシャリスト(食品流通・サービス)資格				
専門資格試験のみの受験者の フードスペシャリスト資格取得年月		平成	年	月取得
受験希望地	() 卒業教育機関			
	() 希望都道府県【 】			
	大学名等【 】			

(注)

1 氏名欄の漢字は、合格後「資格認定証」作成に使用しますので、正しく記入してください。

氏名の表記は、戸籍抄本又は住民票の記載と同じにして下さい。

なお、電子データでの名簿管理において注意を要する文字(標準的以外の文字など)を使用する場合は、その文字を赤丸で囲んでください。

2 性別欄の男・女は、選択して○で囲んで下さい。

3 携帯電話番号とE-Mailアドレスは、協会からの連絡に必要ですので必ずご記入下さい。

4 受験希望地はどちらかに○を付けて下さい。

卒業教育機関以外を希望する方は、必ず希望都道府県名を記入して下さい。

受験会場(認定試験実施校)は、受験者の希望を踏まえて協会があっせんします。

*協会記入欄(受験者は記入しないでください)

受験番号	学校コード	受験教育機関名
合格番号	学校コード	卒業教育機関名

(記入例)

〈別紙3〉

既卒者（非在籍者）用

平成28年度 フードスペシャリスト資格認定試験

受験申請書

氏名の漢字が外字の場合は、大きくわかるように記入して下さい。

平成 28年 9月 ××日

ふりがな	にほん はなこ	生年月日	性別
氏名	日本 花子	昭和 平成 西暦 60年 3月 9日	男 ・ <input checked="" type="radio"/> 女
連絡先住所	(〒170-0004) 東京都北大塚2-20-4 橋義ビル	写真貼付欄	
	自宅電話 03-3940-3388		
	携帯電話 090-△△△△-××××		
	E-Mail info@jafs.org		
卒業養成機関名	〇〇学園短期大学		

卒業年月	昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 20年 3月 卒業
受験する資格認定試験区分(該当するものに○印を)	
<input type="checkbox"/> フードスペシャリスト資格	
<input type="checkbox"/> 専門フードスペシャリスト（食品開発）資格	
<input type="checkbox"/> 専門フードスペシャリスト（食品流通・サービス）資格	
専門資格試験のみの受験者の フードスペシャリスト資格取得年月	平成20年 3月取得
受験希望地	<input type="checkbox"/> 卒業教育機関
	<input type="checkbox"/> 希望都道府県【 】
	大学名等【 】

(注) 卒業教育機関以外で受験を希望する場合は、ここに○を付けて、希望都道府県名・大学名等を記入して下さい。

- 1. 卒業教育機関以外で受験を希望する場合は、ここに○を付けて、希望都道府県名・大学名等を記入して下さい。
- 2. 性別欄の男・女は、選択して○で囲んで下さい。
- 3. 携帯電話番号とE-Mailアドレスは、協会からの連絡に必要です。
- 4. 受験希望地はどちらかに○を付けて下さい。
卒業教育機関以外を希望する方は、必ず希望都道府県名を受験会場(認定試験実施校)は、受験者の希望を踏まえて協

〇〇〇銀行 ATMコーナー

お取引日	振込・振替先の口座番号		
28-9-××	普通〇〇〇〇〇〇		
店番号	お取引口座番号		
****-****	*****		
振込手数料	お取扱紙幣枚数	お取引金額	
***	万円 五千元 千円	***0,000	
お取引内容		お取引後残高	
電信振込		*****	
時刻	利用手数料	お取扱店番号	
1245	***	△△△	

〇〇〇銀行
 〇〇支店
 コウシャニホンフードスペシャリストキョウカイ 様
 ニホン ハコ 様
 03-3940-3388

*協会記入欄 (受験者は記入しないでください)

受験番号	学校コード	受験教育機関名
合格番号	学校コード	卒業教育機関名

<別紙4>

試験実施委員選任通知書

平成28年 月 日

公益社団法人日本フードスペシャリスト協会
会長 岩元 睦夫 殿

(教育機関名)

(代表者職名) (氏 名)

職印

平成28年度フードスペシャリスト資格認定試験における本学の試験実施委員を下記の通り選任しましたので通知します。

記

氏名

学内職名

氏名

学内職名

※この通知書は、フードスペシャリスト養成機関を有する大学と短期大学が併設されており、試験実施委員が同一の場合であっても、大学、短期大学それぞれについて提出して下さい。

<別紙5>

「〇〇〇〇〇大学」受験会場案内

- (1) 試験日時 平成28年12月18日（日）
- ・フードスペシャリスト資格認定試験 9:30~10:50
 - ・専門フードスペシャリスト（食品開発）資格認定試験
 - ・専門フードスペシャリスト（食品流通・サービス）資格認定試験 } 11:10~12:30
- (2) 受験会場
- | | | |
|--------------------------------|----|----|
| ・フードスペシャリスト資格認定試験 | 号館 | 教室 |
| ・専門フードスペシャリスト（食品開発）資格認定試験 | 号館 | 教室 |
| ・専門フードスペシャリスト（食品流通・サービス）資格認定試験 | 号館 | 教室 |
- (3) 緊急の連絡先
- 試験日前 Tel〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇(担当者〇〇〇〇〇)
- 当日 Tel〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇(担当者〇〇〇〇〇)
- (4) 遅刻許容限度 分迄
- (5) 当日の持ち物
- 受験票、身分証明証、筆記用具（鉛筆HBとプラスチック消しゴム）、上履き及び下足を入れる袋（会場によっては必要となります）
- (6) 所在地
- 最寄駅より徒歩 分

地 図

※受験会場には時間に余裕をもってお出かけ下さい

(別添6)

公益社団法人 日本フードスペシャリスト協会

平成28年度資格認定試験受験票

養成機関
コード ○ ○ ○ ○

受験番号 ○ ○ ○

氏 名 フ リ ガ ナ
 ○ ○ ○ ○

受 験 日 平成28年12月18日(日)
 フードスペシャリスト資格認定試験
 午前9時30分から
 専門フードスペシャリスト資格認定試験
 午前11時10分から

受験する資格認定試験

- () フードスペシャリスト
- () 専門フードスペシャリスト(食品開発)
- () 専門フードスペシャリスト(食品流通・サービス)

会 場 △△(短期)大学

<別紙7>

認定試験実施の手引

平成28年度フードスペシャリスト資格認定試験においては、この手引きに従って実施して下さい。

1. 在籍受験者への事前連絡

- (1) 受験票は試験実施日の遅くとも3日前までに受験者本人に手渡して下さい。
- (2) 受験当日は、受験票及び学生証のほか、筆記用具（鉛筆HB・プラスチック消しゴム）を持参するよう指示して下さい。
- (3) 各資格認定試験の開始時刻の10分前の着席を指示して下さい。
- (4) 学内試験規則に則り、遅刻許容限度を受験者に周知して下さい。

2. 試験会場準備

受験者数に応じて、学内に適当とする試験会場を設営し、受験者番号順に机・椅子を配列して下さい。一つの会場に収容できない場合は、会場を分けても結構です。なお、この場合、各会場に試験実施委員が配置されるよう配慮をお願いします。

3. 当日の作業の流れ

- (1) 受験者名簿により出欠を確認して下さい。
- (2) 受験票と学生証(既卒者は身分を証明するもの)を机の上に置かせて下さい。
- (3) 既卒者（非在籍者）の本人確認は、別途送付する受験申請書の写し(写真付)で行って下さい。なお、その受験申請書の写しは解答用紙等と一緒に協会へ返送して下さい。
- (4) 学内試験規則に準じ、退出許容時刻を示して下さい。
- (5) 試験問題・解答用紙を配布して下さい。
- (6) 試験問題の表紙にある注意事項を丁寧に読むよう指示して下さい。
- (7) 氏名、養成機関コード、受験番号を解答用紙に記入するよう指示して下さい。
- (8) 各資格認定試験の開始時刻に試験開始を宣言し、試験問題を開かせて下さい。
- (9) 厳正な試験の実施を監督して下さい。
- (10) 各資格認定試験の終了時刻に試験時間終了を宣言し、筆記用具を置くよう指示して下さい。
- (11) 解答用紙を回収して下さい。
- (12) [別紙8](#)の受験者出欠表に必要事項を記入して下さい。

4. 不測の事態への対応

認定試験の当日、気象条件の急変や最寄り公共交通機関の事故・ストライキなど不測の事態が生じた場合の試験開始時刻の繰下げ等の対応については、試験実施委員の判断にお任せします。緊急対応が必要となった理由及び対応の内容を電話、FAX又はE-Mailにより速やかに協会までお知らせ下さい。

<別紙8>

受験者出欠表

(教育機関名)

(試験委員名)

平成28年度フードスペシャリスト資格認定試験における各資格認定試験ごとの受験者数と欠席者数を下記に報告します。

認定試験区分	受験申請者数	欠席者数	差引受験者数
フードスペシャリスト資格認定試験			
専門フードスペシャリスト(食品開発)資格認定試験			
専門フードスペシャリスト(食品流通・サービス)資格認定試験			

◎欠席者受験番号—氏名

	受験番号	氏名	認定試験区分			備考
			フードスペシャリスト資格	専門資格		
				食品開発	食品流通サービス	
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						